

大内経営労務事務所

経営と労務管理の最新レポート

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-10-1 六川ビル4階

☎03-3264-6881 fax03-3264-6882

明けましておめでとうございます

明けましておめでとうござい
ます。本年もよろしくお願ひ致し
ます。

年末年始はどのようにお過ご
しましたか？私は、家族でゆっくりして
いました。そして、少しだけ走ったり、泳いだりしていま
した。

今年は休みが長く今日からス
タートという方も多いと思いま
す。仕事のペースを取り戻し、ス
タートダッシュしていきましょ
う。

年始の日本経済新聞に将来我
が国で予想される出来事が特集
されていました。その中で、人事
的なものとして「定年制がなくな
った」というものがあります。

現在法律（高齢者雇用安定法）
では定年は最低でも60歳にし
なくてはなりません。そして、再
雇用制度などで65歳まで雇用
することが義務化されています。

今後定年年齢は65歳、そして
70歳まで再雇用の義務、とい
うことが予想されています。その先
には、冒頭のような定年制の廃止
という可能性があります。

実際米国では、既に年齢による
差別を禁止しており、定年制はあ
りません。このような社会になる
可能性はあるでしょう。

以下に定年制を廃止した企業
の記事をご紹介します。

落合寛司・西武信用金庫理事長
2011年4月に一律の年齢によ
る定年制を廃止した。60歳以降
は働き方を選択できる制度に変
更。50歳代の評価が高かった人
は、60歳以降も現役時代と同じ
給与水準で働けるようにした。

定年後でも仕事に生かせる能
力を持っている人は多い。だが、
従来制度では60歳以降働き続
けても給与が半分程度に減って
しまう。年収減を嫌って組織を去
る人も多かった。

定年制廃止で50歳代の仕事へ
の意識が大きく変わった。これま
で50歳になって定年が見えてく
ると、仕事への意欲をなくしてし
まう人が多かった。60歳以降も
働き続ける選択肢ができたこと
で、目の色が変わったと感じる。
50歳代での評価で60歳以降の
扱いが変わるから、仕事の質が高
まり、ミスが減った。

60歳以降も従来通り働きたい
とする従業員は8割程度に達し
ている。もちろん支店長など責任
者の推薦を得るなど、実力を伴う
ことが条件だ。能力主義に基づい
た、年齢によらない人事を進めて
おり、32歳で支店長になった例
もある。今後は60歳超の支店長
も出るかもしれない。

一般的に、定年が近くなると働
く意欲が減退すると言われてい
ます。これを「定年前〇B化現象」
と言っています。また、定年後も
同様にあまり積極的に仕事しな
くなる傾向があります。これを
「定年後腰掛け現象」と言っ
ています。

これを避けて、高齢者が活躍す
る組織をつくるなくてはなりま
せん。企業としては高齢者の能
力をどのように開発し、活かすか
が大きな問題になってくると思
います。

そして同時に、何歳まで働くか
は、会社や法律が決めるのではな
く、自分で決めることになります。
早くリタイアしたいのであれば、
資産形成を、長く働くなら健
康管理を徹底するなどの準備が大
切になってくるでしょう。